

Title	新物価革命
Sub Title	
Author	山崎, 繁樹
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1919
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.13, No.6 (1919. 6) ,p.761(97)- 772(108)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190601-0097

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

雜 錄

新物價革命

山崎 繁 樹

一九一九年三月三日より五日に亘りて白館に開かれたる州知事及市長會議に於けるエール大學經濟學教授アービング、フイッシャー氏の講演筆記を最近に入手したれば左に譯出したり

目 次

- 一、進まれず又退けざる諸業
- 二、物價の低落せざるべしとの信念
- 三、各個對一般の物價の影響
- 四、物價と流通の具との關係
- 五、信用貸出の擴張
- 六、通貨の濫出に對する誤見
- 七、物價の將來の動搖に對する豫想の基礎
- 八、歐洲の物價は我國の物價以上に騰貴したり

第十三卷 (七六一) 雜 錄 新物價革命

- 九、國債の信用及物價に及ぼす影響
- 十、外國政府の借金も亦同一の効果あり
- 十一、商賣上の借金は増加せざるを得ず
- 十二、信用貸金の縮小に對する實業家の反對
- 十三、大陸に於ける預金銀行業の増加
- 十四、物價の新平準に向て一歩先に進め

一、進まれず又退けざる諸業

現在生産は極度に休止の状態に在りて製造工業は其の運轉を遲緩せしめつゝあり、其の結果労働者の職に離れる者増加する一面製造工業の或る會社は既に獲取したる利益の餘義なき吐出しに苦しめる有様なり、其の然る所以は例令製造機械の運轉を休止することも經費の或部分又は一定の出費は節約することを得ざればなり政府の収入も一般國民の収入に準ずる次第なるか故に國家の収入の最も多きを要する今日に際して不足を告げんとせり摘言すれば我等は一般的大不景氣と特異の原因とに脅かされ居る譯なり、

第六號 九七

何んとならば通例一般的に不景氣に先立つ財界の不健全なる状態は今回は其の姿を見せずして我等が策應の準備なき時遽然一般的大不景氣の襲來する所となりたればなり。

二、物價は低落せざるべしとの信念

諸般の實業が好景氣に轉回せざる主なる理由は各人が物價は低落すべしと思惟せるに存するなり、商人は賣れども買はず又製造業者は其の製造原料の買入れを見合はせ居り、人は一般に現在の物價と戦前の物價との開きを云爲し而して現在の物價が戦前の物價程に下落する迄は多く買はざる決心をなせり

諸物價は慥かに低落すべしとの此の一般的確信は正に生産及分配の全機關にブレーキを掛け、其の運轉を停止し居る譯となる、物價の整理は我等が其の整理を俟つが故に一向に進捗せざるなり我等は實に徒爾に三ヶ月有餘を俟ちたり

業に影響を及ぼす特異の理由の爲に平均騰貴率に比し多く騰貴したるものあり又少く騰貴したるものあり、戦亂は銅、鋼鐵等の如き生産物に對して異常の需要を喚起せしめ従て其の價格は疾く平均騰貴率より騰貴したり、而して此の異常の需要は消滅して其の價格は下落に向ひたり、小麦も需要を増加したる物品の一例なるが同時に露、埃、アルヂモンチナの如き從來の供給地は其の供給を停止したる結果として價格に異常の昂騰を來したり、然るに一旦供給を停止せる原産地は再び開放され従て世界市場に於ける小麦の市價は低落したり、又造船材料を製造する多くの工業に於けるが如く戦亂の爲め政府は使用量の強制的節約を命じ、それが爲めに需要に大減少を來したる場合もあり、此の如き事例に於ては抑壓されたる需要は其の抑壓の去ると共に再び元の状態に復するが故に價格は上向き

製造家の多くは其の製品の直段を引下げ得ざること又は賃銀を低く爲し得ざること何時にても諸君に向て證明する一面製造家等は賃銀と共に諸物價は低落すべきものと思惟せるは何んたる矛盾ぞや、製造家等が買入るゝ物價の殆んど全部は約倍額を要し又職工等に對して其の支拂ふ賃銀は正に倍額に達せり、製造家等は職工等の生活費が膨脹せるに會せるを見ながら尙且つ其の賃銀を少なく支拂ふことは爲し得ぬ所なり我等が今所謂高値の製造工業品の各種に就きて検査すれば其の物品の個々に付きては決して高値ならざることを合點し得らるゝが如し、即ち其の一つ一つは他の物品と比例的には高値ならざるなり、吾人の論據は實に此の物價の一般的平準に存するなり

三、各個對一般の物價の影響

諸般の物價は騰貴したり、而かも各種製造工の動搖を起すに至るべし、今日我等は全國を通じて整理せらるべく動搖する物價を目標中なるが物價指數が既に證明するが如く物價の一般的平準には殆んど下落を示し居らざるなり、茲に於て思慮深き各觀察家には諸般の物價に對し或る偉大なる力が働き以て有ゆる物價を従はしむる新標準の創造されつゝあることが明白に看取せられん、

實業家に肉迫する所の根本的實際問題は物價の一般的平準は下向き居るや否やに存す吾人の意見を以てせば物價の一般的平準なるものは大なる下向を示さざるべし、我等は永久に高き物價の平準に會せるが故に我國の實業家等が此の見地に據り以て、それに順應することを策すること速かなるに於ては我等が現在の誤りたる希望を固守せば免れ得ざる不幸より實業家等自身及一般國民を救ひ得らるゝことも亦速かなるべ

し。

四、物價と流通の具との關係

物價の一般的平準は取引關係に於て流通の具の量と受授回轉の速度とに關連するなり、即ち現金及小切手の形にて流通する弗の數量が倍増するとも其の現金及小切手と交換せらるゝ物品及勤勞が一定不變なるときは其の物品及勤勞の價格は倍増すべきなり

歴史上大なる物價變動は丁度同一の形式にて襲來せるを見るなり彼の十六世紀に於ける物價の革命は米國の鑛山にて盛んに採掘されたる金銀の幅峽したる結果歐羅巴に襲來し歐洲諸國には新貨幣の洪水を現出したり、従前に比し多數の交換臺は交換を結了する爲めに使用せられ物價は昂騰したり其の當時、人は一般に丁度現時の状態に就きて評するが如く一時的通貨の濫出なりと言ひ會へり、然れども其れは決して一時

的ならざりしなり、其れは實に新規なる物價の平準なりしなり、

一八九六年より一九一四年迄に同様の物價騰貴は全世界に亘りて發生したり、而して其の物價騰貴は南亞弗利加、クリップルクリーク及アラスカに於ける豊富なる金鑛の發見、シアナイド探鑛法の發明並に銀行よりの信用貸出の夥しき利用に伴ひたるものなり、

五、信用貸出の擴張

流通する信用貸出(即ち銀行の預金なるものは小切手及銀行紙幣を受入れ勝ちにして一方に信用貸出を得て一方に預け入るれば流通する信用貸出しと云ふ)は此等の預金及紙幣に對する銀行の支拂準備金の倍額に相當し此の支拂準備金の本體は金なり、我が現在の銀行に關する制度は宛らピラミッドを轉倒したるにも似て支拂準備たるゴールドは小なる基底を成せるに銀行

紙幣及預金は大なる上構へを成せるものなり、而して其の上構への増大は基底の増大するよりも疾し、預金は重要な原素なり、而して此等預金は一人より他人へ小切手に由りて移轉するが故に小切手の流通は實に預金の流通なりと云ふべし、斯の如く一國の金供給の増加は其の増加したる高の倍の効果を有す。而して其の效果の及ぶべき限界は(一)使用し得べき金の額及(二)金準備額に對應すべきなり、是れ即ち金に準據して流通せしめ得る信用貸出の量が決定せらるゝが故なり、

十億弗に餘る金は一九一四年以來外國より當國へ流入し來りたるが、同時に多額の金は國內の流通より其の姿を掻き消したり、此の輸入せられたる金及國內に流通したる金は合衆國の金庫及銀行の準備金に流込みたるなり、一九一八年六月三十日に於ては國立銀行の預金及同盟

準備積立銀行の兌換券を擁護する所の同盟支拂準備制度に據る金準備の一部分は一九一四年六月三十日に於ける舊國立銀行制度に據る金準備額に比し三倍以上(即ち前者の十七億八千六百萬弗に對し後者五億九千二百萬弗)なりし又同一期間中に信用の具(即要求拂の預金及び兌換紙幣)は六十一億弗より百十七億弗となり殆んど倍増したり、信用の具の斯の如き増加は國全體として云へば銀行業の代表的地位を示すと同時に十分に現在の物價の高き平準を説明せるものなり、金は恰もピラミッドの基底が上構へより疾く増大したる程に増加したり去れども此の増加は戰前の物價に歸向せしむると反對の作用を爲すものなり、金の信用貸出に對する比率は九分六厘より一割五分三厘に上りたり、一九一八年に於ては現制度の法定支拂準備額に比し實際金の過剰を來せしこと實に七億弗以上なりき

即ち同年百十七億弗を計上したる信用の具を擁護する爲めに法律にて命ぜられたる支拂準備額は十億七千萬弗なりしを以て自由處分に俟つべき七億弗の金は現在するピラミッドの上構へを更に七割程増大することとなる譯にして此の事や我國銀行業全體より云へば内輪に見積るも信用の具は將來五割の可能的膨大を指示するものなり

六、通貨の濫出に對する誤見

多數人は流通の具に於ける濫出を一時的のものなりと思ひ込める所より此の濫出の終熄を期待しつゝあり、吾人が通貨の濫出と云ふは一定の物價の平準に於て一國の商賣取引を行ふに必要なるより以上の流通の具を意味す然らば其の一定の物價の平準とは如何、或人は一九一三、四年の物價の平準を其れなりと云ふ、我が通貨は其の期間の物價に割合はせば丁度一九一四年

に於ける貨幣が一八九六年の物價に割合はせて濫出されたるが如くに儘かに濫出したり、併しながら現時に於ける我が貨幣は戦亂が招來したる世界的物價の新平準より見れば決して濫出しあらざるなり、一國の貨幣の量は此の物價の新平準に割合はせて判斷すべく既に過去りたる物價の平準に割合はせて考ふべきに非らざるなり、現在の通貨の濫出を一時的なりと云ふ人は一九一四年頃の物價を以て常態に於ける物價と思ひ込める人なり、

七、物價の將來の動搖に對する豫想の基礎

吾人は試みに將來の物價の動搖が彙縁する諸種の原因を吟味せん

一、金は流通の爲めの復歸を見ざるべし、物價引下げに對して金及他の法貨を日常の流通に復歸せしむるとも大なる効果は期待し得ざるべし

し何んとならば斯の種の復歸は何處に於ても貨幣上の經驗に反する事象を現はすものにして即ち各人が其の金銀を銀行に預入し而して其の代りに紙幣及小切手を使用することを覺ゆるときは全く舊習慣に立戻り得ざる程多大の便宜を感ずるに至ればなり、

二、國際貿易に在りては金は多大の流出をなさず、以前亞米利加より外國へ金が流出したりしも其の流出の原因の多くは今日消滅したることとは須らく注意すべきなり、我等は従前歐洲諸國が所有する我國の公債に對する支拂利子の莫大なる差額を負ひたり然るに其の地位は今日は正に反對となれり加之歐洲諸國は我國より供給する再建設用材料に對する代價若くは少なくとも我國が歐洲諸國に許したる信用貸に對する利息を我に支拂ふべき順序となるなり、斯かる次第なれば再建設の時代の間は我が輸出は恐らく

輸入に超過すべし、

我等は従前大洋の運賃を外國の回漕業に支拂ひたるも今日は我國の商船は數千萬弗を計上する此の大洋運賃を我國に留保すること、なれり又亞米利加人にして外國觀光の途に上る者従前は非常に多く此等の費用は我國が當然負擔したるも觀光旅行者は今や跡を絶ち而して少なくとも一ヶ年位は元の狀況に復し得まじ、總て此等の理由より推して亞米利加より歐洲に向て金が移動するよりも寧ろ歐洲より我國へ金の移動する線路が敷設されたるものと考へ得べし、然り、併しながら人は言ふ「合衆國及歐洲諸國間の商賣が舊狀に復する迄待たば歐洲が我に負へる總ての例年の債務を決済し得る程に巨額の物品而かも安値の歐洲品が我國へ儘かに流入し來るべし」と、結局は歐洲諸國は我に負へる債務を物品にて支拂はざるべからずと雖もとは數年の永

きを要すべし、遮莫、歐洲諸國は現下焦眉の急を告げつゝある再建設に對し我が製造に係る道具、機械及原料品を要することを思はざるべからず、

八、歐洲の物價は我國の物價以上に騰貴したり

現在に於ては歐洲の物品は安値ならず(歐洲人の勞銀はよし安しとするも)開戦以來歐洲の物價は合衆國に於ける以上に騰貴したり、物價は戰場を距つこと遙かなる程其の騰貴の程度少なく即ち濠洲及ニュージランドに於ては最も少くなく、合衆國、加奈陀及日本之に亞ぎ歐洲の中立諸國は其の次に來り我が現在の聯合國は其の又次ぎに來り最後に最も騰貴したる獨逸及露西亞の順となる、金は常に物價高値の國より其の安値の國に向て流出する傾向あるものなり、從て通貨の濫出したる歐洲諸國の物價が

低落する迄金は歐洲へは流出せざらん、物價は歐洲に於ては當地に於けるよりも一層下落せぬらしく思はる、そは次に説明する同一理由より推して左様に論斷せらるゝなり、

三、未決濟信用貸出の縮少

物價の低落を豫言する人々の主なる論據は金其のものゝ量を縮少するよりも寧ろ我が金に據する信用貸出なる上構への縮少に存するなり此等の人々は銀行の信用貸出の收縮換言すれば小切手に依りて國內に克く流通する預金の量の縮少にのみ目を注げるなり、

九、國債の信用及物價に及ぼす影響

銀行の信用貸出が現在の如く擴大したる主なる原因は自由公債に在りて又此の自由公債が直ちに他の原因となる、新國債の應募者は全額を拂込ざるのみならず前數回行はれしと同様の場合に於けるよりも寧ろ少なき拂込を爲したり、

即ち應募者の多數は銀行と後日辨濟する約束の下に借入金爲し之れが擔保に國債證書を預入れ而して借金は國債に對する拂込に充當したれば實際應募者が支拂ひたる金高は僅に頭金に止まるなり、茲に於て我が流通の具に對する効果は恰も政府が同盟準備積立銀行に向て六十億弗の信用貸出義務を負はせ其の上に地方の銀行へ此等の信用貸出を按分割當てすることを同盟準備積立銀行に命ずると同様の結果となる、故に此の方法は慥かに信用貸出の擴大を誘導することとなるなり、前きに發行せられたる多額の自由公債證書は尙ほ銀行にて取扱はれ居るなり、新戦捷記念紙幣に依りて代表さるゝ銀行の信用貸出の増大は既に大藏省證券の發行せられたる時にも起りたる事例にして此の時も自由公債の發行せられし時と同様銀行は大藏省證券を買入れんとする人に先づ、戦捷記念紙幣を以て

貸出を許して之を擔保に取り貸金は大藏省證券の賣渡金に充當したり、去れば發行せられたる戦捷記念紙幣は政府に對する信用貸出金支拂義務の轉移—銀行より買手へ—のみを代表する譯となる、而かも銀行の未決濟信用貸出の量は之が爲め毫も増減を來さざるなり、或る程度迄は此の論議は正確なり、然れども來る四月發行さるべき戦捷記念紙幣の一部は—現に殖へ居る經費ならず—此の上の經費に振當てらるゝことゝならん、然らば政府は此の追加要金に對しては立處に新大藏省證券を發行すべく其の結果は更に銀行の信用貸出を増大することゝなるべし、加之再建設時代の間に於て政府は少なくとも尙ほ一つの國債を發行すべきことは疑ふの餘地なき所にして之れが發行も亦我が現在の信用貸出組織を層一層増大する譯となるなり。

十、外國政府の借金も亦同一の

効果あり

銀行は管に我が政府の経費のみならず外國政府の経費をも支拂ふ爲めに信用貸出をなして一方に預金を吸収せざるべからず此等の政府はよしんば合衆國の金庫を経由せず直接に當地の私的放資家に依りて用達てらるゝと其の結果に於ては同一なり、即ち此等放資家は我が自由公債に於けると同様に外國政府の公債に對して拂込を爲すに一少部分の頭金を支拂ひ殘額は銀行よりの借入金で以てすればなり、斯の如くして増加したる購買力は我國より海外へ再建設材料として供給送付せらるゝ物資に對し常國に於て大半消費せらるゝものなり、世界を通ずる戰亂及再建設に關連する所の廣大なる公債發行の連續は一時的——と雖も數ヶ月に亘るべき——高き物價の平準を維持する原因たるなり、

尙ほ當地に保有さるゝ自由公債及他の政府公

債は個々の應募者が此等の證書に對し拂込を完了して實際自己の所有に移さんとする時に際して信用貸出増大の源泉たるものなるが故之れが轉々は全く絶ゆることなきを肝銘することを必要なれ、實に此等の新公債證書は商賣上の用途の爲めにも銀行より尙ほ借入を爲さんとする場合には無比の擔保たるものにして政府が償還を行はざる迄は轉々して止まざるものなり、

政府に於て若し將來信用貸出の増大を欲するときは之れが引當てとして莫大の軍事公債の發行すべきあり之れ我が銀行業の制度に於て尙ほ多くの使用未済に屬する卷きたる儘の帆を保有せる事實と共に一朝諸業が一層多數の帆を張るべき機運即ち多額の資金の必要を生ずる時正に取出し使用さるべきものにして物價が數年の永きに亘りて高保合を持続する主なる理由も畢竟此等の事相を見越せばなり、

一時的物價の平準時代より永久的物價の平準時代に移る過渡期即ち今日より約一年位は其の物價平準に多少の落込み下押しも有るならん果して然らば諸業は今日進むを以て正に當然の義務と云ふべし、何んとならば斯る過渡の一年間を待つこと能はざればなり、

十一、商賣上の借入金は増加

せざるを得ず

開戦中は商會社の浮動株券及社債券は極度に減少したりしも我等が今日會せんとしつゝある其の時代の間は此の種の借用證文は大に増加すべし、

十二、信用貸金の縮小に對する

實業家の反對

銀行の信用貸出の著減及之れが結果たる物價の一般的平準の方向には全實業界は武裝し本氣にたりに反對せることを發見すべし、物價の低

落は個人に對しても又國民に對しても困難時を意味するが故に各人は此の低落の傾向には反抗するなり、嘗て内亂の終熄せし當時金庫は綠背紙幣の量を收縮せん計畫を立てたりしが一八六六年及一八六七年の不景氣を前に控へて此の計畫は容易に遂行せられざりしより議會は遂に法律に依りて此の上の收縮を禁止するに到れり、

同盟準備積立銀行が其の割引の率を引上げ或は他の方法に依りて回收未済の信用貸出の量を縮少することを企圖せば銀行は必ずや同様の反抗に出會すべし、加ふるに貸銀引下げに對し勞働者の敵意を啣む態度は立法者及銀行家をして縮少の政策を發案することを躊躇せしむるあり以て益々信用貸出の縮少を阻碍するなり

十三、大陸に於ける預金銀行業の増加

尙ほ遠き將來を達觀すれば歐羅巴殊に大陸に於ては預金銀行業の夥しき増加を見るに至るべ

し、戰時歐洲各國政府の資金上の缺乏は預金銀行業の發展を促進せしめ爾來流通外の貨幣は銀行の庫中に納まり而して爰に流通する所の信用貸出の基礎を成就せしめたり、是れ即ち通貨の大膨脹を發端せしめたる新習慣の根柢なり、印度及支那の如き隔絶せる諸國も亦預金銀行業の利用を學びつゝあるなり、此の預金銀行業ののたる恰も金供給の新源泉を發見したるに等しきなり、此の金供給の新源泉を利用する新しき方法として何物が發見されしやと問ふ者あらばそは戰亂の眞最中世界が樹立し又は促進せしめたる彼の十六世紀に於ける物價革命の均等物なりと答へんと欲するなり、

十四、物價の新平準に向て一步

先に進め

實業家は宜しく事實の真相を看取すべきなり
一九一三、四年頃の物價を謹奉し云爲するは宛

ら今日羅旬、ヘブリューの死語を話すと一般的なり、休戦以來我國の買手は兎角控へ又は見送りの態度を持つる一面物價に對して類例なき程の攻撃を加へたるも尙ほ且つ物價の後戻りせしこととは論ずるに足らざる程に細微なりし、其の然りし所以の理由は即ち我等が動すべからざる真理と認めらるべき新しくして高き物價の平準に出會したるに在るなり、然り而して巧者と稱せらるゝ人は徒らに見送る人には非ずして克く新物價の事相を看取し而して之れに策應して活動する人なることを知り得べし、

經濟的史觀論の價値(二)

野村兼太郎

三

第一の問題たる人種的感情とは如何なるものなりや。且つ亦かゝる感情は如何にして存在するや。吾人が劣等民族に對しては、一種の誇負を感じ、優等民族に對しては、一種の嫉妬を感じるは如何なる理由に基けるや。

民族は個人に依つて成立す。換言すれば各個人はある種族に從屬すてふ意識を有す。吾人日本人が黄色人種にして、他の人種にあらずてふ意識は、他の人種に對して誇負し若しくは嫉視する原因なり。斯如き意識——己と同一種族に屬する者に對しては親しみを感せしめ、他種族に屬する者に對しては是を排せんとせしむる感

情の根本は各人の有する自立排他の思想に存す。マックス、ステイルナーが「此の世の光を浴する瞬間より人間は自己を始めすべてのものが共に相錯雜せる混亂の内より、自己を發見し、且つ是を保持せんことを欲す。然るに其の幼き者の接觸するすべてのものは相次で其の攻撃より自己を防衛し、それ自身の存在を擁護す。従つて各自はそれ自身をば守護し、同時に他のものとは絶えず争闘するが故に、自己保存の戦は避くべからざるものなり。」と云へるは、其の言極端なるが如しと雖も亦一面の眞理を含まざるにあらず。ステイルナーの如き極端なる個人主義者にあらずとするも、少しく冷靜に人情世態を觀察する者は、彼等人類が如何に甚しく自己を主張せんとしつゝ、ある事實に、驚嘆の聲を發せざるを得ざるべし。營利に汲々たる商賈の輩は問ふべくもあらず、陽に博愛を説ふる者にし